

# 労働社会保険諸法令順守状況 確認用書面記載要領

様式1 業務従事者名簿・・・・・・・・P 2

様式2 業務従事者配置計画書・・・・・・・・P 3

様式3 業務従事者健康診断受診等状況報告書・・・・・・・・P 5

## 作成にあたっての留意事項（共通）

業務従事者名簿(様式1)、業務従事者配置計画書(様式2)、業務従事者健康診断等状況報告書(様式3)の書面は、適正な履行及び品質の確保を図る観点から、履行検査の一環として、業務対象施設に日常的に従事(常駐)する労働者の労働環境状況を確認することを目的としております。提出の際は、対象労働者から同意を得たうえで、次の各様式における記載要領に沿って作成してください。

なお、代替又は臨時その他の理由により一時的に従事する労働者は、報告の対象外となります。

## 業務従事者名簿（様式1）記載要領

業務従事者名簿は、業務対象施設において日常的に従事(常駐)する労働者の名簿を、下記の事項に沿って作成してください。

### 記

#### 1 雇用年月日

氏名の下の（ ）内に、当該労働者の貴社における雇用年月日を記入してください。

なお、労働者派遣法に基づく派遣労働者にあつては、派遣契約年月日〔例：派遣契約〇年〇月〇日〕を記入するとともに、「資格等」の欄に「派遣労働者」と記載してください。

#### 2 年齢

履行開始日現在の年齢を記入してください。

#### 3 所定労働時間

労働者毎に、雇用契約上における所定労働時間を次のとおり記入してください。

(1) 日：1日当たりの所定労働時間(勤務時間)を記入してください。複数のシフトにより1日の所定労働時間が異なる場合は「〇～〇」と記入してください。

(2) 週：1週間の平均所定労働時間を記入してください。複数のシフトにより1日の労働時間が異なる又は週の労働日数が固定されていない場合は、次の算出例を参考に記入してください。

ア 年間所定労働時間 ÷ 52週間／年 = 週所定労働時間

イ 月所定労働時間 ÷ 4.3週／月 = 週所定労働時間

ウ おおよその週労働日数又は月の労働日数等で計算する場合

(例) おおよそ週3日勤務 × 5時間 = 15時間／週

(例) おおよそ月13日の勤務 × 4時間 ÷ 4.3 ≒ 12時間／週

(例) おおよそ週5日勤務の内、(おおよそ週3回×4時間勤務=12時間) + (週2回×6時間勤務=12時間) = 24時間／週

#### 4 社会保険の加入状況

労働者毎に、受託者が適用を受けている健康保険及び雇用保険の加入状況について、加入の場合は「○」を、未加入(国民健康保険又は後期高齢者医療保険に加入)の場合「×」を記載してください。

## 5 資格等

業務の履行に当たり、特記すべき労働者が取得している資格等を記入のうえ、その資格を証する書面の写しを添付してください。

## 6 その他

代替又は臨時その他の事由により一時的に従事する労働者についても、本調書にて報告を求められている場合には、3の「所定労働時間」及び4の「社会保険の加入状況」の欄には「一」と記載し、5の「資格等」の欄にその従事者の業務分担内容を付記してください。

### 業務従事者配置計画書（様式2）記載要領

業務従事者配置計画書（様式2）は、業務対象施設において日常的に従事（常駐）する労働者として、業務従事者名簿（様式1）により報告した労働者の配置計画書を、下記の事項に沿って作成してください。

なお、本調書は、通常の業務日1日当たりの労働者の配置計画を記載していただきますので、複数の労働者とローテーションを組んで対応している場合は、業務従事者名簿（様式1）により報告したすべての労働者について記載する必要はありません。〔（例）1日当たり3人を配置予定の業務において、当該業務を4人の労働者でローテーションを組み履行していく場合、配置する3人の平均的な配置時間数を記入〕

## 記

### 1 従事者No.

「従事者No.」は「1」又は「A」から始まる連続番号を付記してください。

なお、当該No.を業務従事者名簿のNo.と連動する必要はありません。

### 2 従事者区分

「従事者区分」は、業務毎に労働者の技能や実務経験等によりA、B又はCの3区分としています。労働者の区分について、次の表を参考にして該当する区分に「○」を付してください。

業務種別	区 分 説 明
①建物の清掃業務	A： ビルクリーニング技能士の資格を有する者又は清掃業務について作業の内容判断ができる技術力及び作業の指導等の総合的な技能を有し、実務経験6年以上程度の者 B： 作業の内容判断ができる技術力及び必要な技能を有し、実務経験3年以上6年未満程度の者 C： 清掃員A又は清掃員Bの指示に従って作業を行う能力を有し、実務経験3年未満程度の者
②その他の業務	A： 作業の内容判断ができる技術力及び作業の指導等の総合的な技能を有し、実務経験6年以上程度の者

	<p>B： 作業の内容判断ができる技術力及び必要な技能を有し、実務経験3年以上6年未満程度の者</p> <p>C： A又はBの指示に従って作業を行う能力を有し、実務経験3年未満程度の者</p>
--	--

### 3 その他

- (1) 深夜24時を超え翌日までの勤務の場合には、同行の左端0時から続けて記入してください。
- (2) 1日当たりの労働時間は、休憩時間を除く実務の労働時間(賃金の支給対象となる労働時間)を、記入してください。
- (3) 継続的労働(労働基準監督署から許可を受けているもの)は、賃金を支払うべき労働時間と見なしますので、1日の労働時間に含めて記載してください。
- (4) 「上記時間帯に係る従事者区分の人数」には、1時間単位で従事した延べ人数を記載してください。  
(勤務開始又は終了時間が「〇〇時30分」のように、1時間に満たない時間であっても、1時間として延人数に計上してください。)

【記載例】

**労働時間記録票**

12時～13時までの1時間: 休憩時間

1日  
の  
労働時間

8 時間  
6 時間  
6 時間  
10 時間  
6 時間  
時間

従業員  
No.

従事者  
区分  
(A・B・C)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

1 A・B・C  
2 A・B・C  
3 A・B・C  
4 A・B・C  
5 A・B・C  
A・B・C  
A・B・C  
A・B・C  
A・B・C

従業員No.4の従事者のように、継続的労働時間の許可を受け、「21時～翌7時」の勤務になっている場合には、同行の左端0時から続けて、点線矢印「- ->」で記載してください。

休憩時間を除いた労働時間(賃金を支払う時間)を記載してください。

1時間当たり業務に従事した人数を記載してください。

上記時間帯に係る従事者区分の人数(1時間単位で記載)

A 1  
B 2  
C 2  
合計 5

1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 3 3 3 1 1 1 2 1 1

8 人  
13 人  
17 人  
38 人

合計  
時間

36

業務従事者健康診断受診等状況報告書（様式 3）は、業務対象施設において日常的に従事（常駐）する労働者として、「業務従事者名簿（様式 1）」により報告した労働者の労働安全衛生法に基づく健康診断の受診状況を、下記の事項に沿って作成してください。

## 記

### 1 社会保険の加入状況

労働者毎に、受託者が適用を受けている健康保険及び雇用保険の加入状況について、加入の場合は「○」を、未加入（国民健康保険又は後期高齢者医療保険に加入）の場合「×」を記載してください。

### 2 健康診断受診日

- （1）労働者毎に、労働安全衛生法に基づく定期健康診断の受診年月日を記載してください。なお、健康診断個人票写しの添付は必要ありません。
- （2）「健康診断の受診義務が無い」又は「途中退職」などの理由から、健康診断を受信していない方は、「受信無し」と記入したうえ、その理由を「備考欄」に記載してください。
- （3）深夜労働のため、半年に 1 回の健康診断が義務付けられている方については、「健康診断受診日」欄に、それぞれの健康診断受診日を 2 段書きのうえ、「備考欄」にその旨を記載願います。